

令和元年度第 4 回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和元年 10 月 17 日（木） 10:30～11:30

糸魚川市役所 2 階 201・202 会議室

【出席委員】

藤田年明委員、桐木勉委員、白石雅孝委員、塚田二郎委員、渡辺郁子委員、猪又直登委員、丸山延弥委員、長井聰委員、鹿野剛史委員、松縄麗（北嶋宏海委員代理）、小池文義委員、小林尚雄委員、平内芳美委員、古畠敏枝委員、清水陽一郎（西脇倫明委員代理）、玉久保彰委員、古見隆夫委員、野神直人委員、池田正吾委員、北村雄一委員
以上 20 名

【会議の概要】

1 開会

- ・建設課長の進行で 10：30 開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

<会議成立報告>

- ・委員出席状況は、総数 27 名中 20 名が出席となり、協議会規約第 9 条第 2 項に規定する過半数を超えていることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告

3 報告

- ・議事進行は建設課長

(1) 糸魚川地域公共交通協議会委員の交代および追加について

質問・意見なし

(2) 路線バス再編に関連したご意見への対応状況について

委員：学校としては、今後夏時間から冬時間に移行するため、部活動の終了時刻が 18:30 から 17:30 へ変更されることから、17 時台のバスの運行が重要となる。冬期の運行時刻の見直し検討をお願いしたい。

事務局：現行の路線は、通学利用だけではなく、一般利用者が利用する路線バスという一面もあることから、早めに相談をさせていただき、ご指導をお願いしたい。

委員：路線バスの変更の影響で、循環バス（市街地巡回線、中央大通り線）の運行内容が変更となり、糸魚川地域の目的地まで乗り継ぎが必要となったことから、交通弱者は時刻がわからなくなってしまい、買い物へ行きにくくなってしまっている。せめて数本に1本でも奴奈川線を経由するような路線を運行できないか。

事務局：今ほどのご指摘と同様な意見を頂いており、対応が必要だと考えているため、利用状況も踏まえて検討していきたい。

委員：今後も身障者の会の役員会や会員の皆様から意見を収集し、次回の協議会で報告したい。

委員：能生地域の路線バスが運行していない地域で3路線を現状運行しているが、これらの路線の利用者は、よしだ病院を利用している方が多い。現状では、朝（行き）はよしだ病院まで直通で行くことができているが、受診をして帰るためには、路線バスで糸魚川駅まで行き、鉄道へ乗り継いで能生駅まで移動してから、予約制のコミュニティバスを利用する必要があり、かなりタイトな状況となっている。

可能であれば、コミュニティバスと乗り継ぎができるように、日中もよしだ病院から能生地域まで直通で移動できる路線を導入していただきたい。

事務局：日中の直通便の導入に関する意見も頂いているため、この点についても検討したいが、今回の再編のポイントとしては、朝夕と日中の運行内容を分けるというところにある。この運行方法が極端に反映されてしまっているところはあるものの、要望に応じて直通便を導入し続けると、以前の形に戻ってしまうことが考えられる。そのため、乗り換えというご不便をかけてしまうが、まずは、乗り継ぎ時刻の周知の強化を実施していくことを優先したい。

(3) 青海地域の路線バス再編への取り組み状況について

質問・意見なし

4 議事

・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

議案第1号 令和元年度 新駅関連特別会計の設置

質問・意見なし

（決 議）原案の通り承認

議案第2号 令和元年度 新駅関連特別会計 補正予算

委員：新駅の導入によって、路線バスやタクシーの乗り入れなどはどのように変更するのか。

事務局：路線バスについては、警察署との調整が必要だが、現時点では南押上のバス停を新駅付近に移動することを検討している。また、接続を意識したダイヤ改正も行う予定である。タクシーについては、新幹線の高架下に整備する駐車場を活用して頂くことを予定としている。

委員：新駅に整備する駐輪場は何台停めることができるか。糸魚川高校の生徒や通勤する方の多くが利用するのではないか。

事務局：鉄道を利用する生徒の人数を考慮し、約 140 台を予定している。

(決 議) 原案の通り承認

5 連絡

●えちごトキめき鉄道から 1 件、事務局から 4 件の連絡事項

①えちごトキめき鉄道からの連絡

②令和元年 10 月 交通機関の運賃改定について

③糸魚川駅アルプスロ ロータリー区画線変更

④利用促進（高速バスラッピング、大糸線活性化事業）

⑤その他（台風 19 号による交通機関への影響）

質問・意見なし

6 閉会

(11:30 終了)